

鳥取県歯科医師会

令和6年度事業報告書

実施事業等会計

【継続事業1】 鳥取県口腔総合保健センター運営事業

(1) 障がい者歯科診療事業

会員協力医2名体制（輪番）で、毎週木曜日の午後に診療を行った。また、鳥取県から委託を受け、日本障害者歯科学会の指導医等を招聘して、臨床実習を伴う講習会を開催した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	3	5	4	4	4	4
受診者数	36	54	50	43	54	36

※ 受診者数は延べ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	5	3	4	4	3	2	41	3.4
受診者数	56	34	36	45	37	27	508	42.3

《 第1回講習会 》

日 時	令和6年9月12日（木）14:00～17:30
会 場	鳥取県歯科医師会館内 鳥取県口腔総合保健センター
臨床研修	実際の患者対応等について指導を受けた（診療終了後、カンファレンス約1時間）
講 師	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科 教授 森崎市治郎氏
参加者数	会員5名 歯科衛生士7名 合計12名

《 第2回講習会 》

日 時	令和7年2月6日（木）講演 14:00～16:30
会 場	鳥取県歯科医師会館 3階講堂
講 演	「歯科受診を拒否する障害児・者にどう対応していますか」 —広島口腔保健センターでの取り組み—
講 師	広島口腔保健センター副センター長 尾田 友紀 氏
参加者数	歯科医師9名 歯科衛生士9名 言語聴覚士1名 専門学校学生44名 合計63名

(2) 歯科健康診断事業

共済組合などから委託を受け、本会が健康診断実施契約を締結、会員に協力を依頼し、診断票による診査と結果に基づく保健指導を行った。

区 分	受託件数	受診者数
共済組合	1	109
事業所健保組合他	6	159
島根健保連	2	医院請求

【継続事業 2】 歯科医学・医術の振興、歯科保健の推進及び普及啓発・コンクール並びに調査研究、適切な歯科医療管理の指導、歯科医療情報の提供を行い、公衆衛生の普及向上に資する事業

(1) 歯科医学・医術振興事業

① 鳥取県歯科医学会・鳥取県臨床歯科医学会

著名な歯科医師等を講師に迎え、時代に即した歯科医学をテーマに講義を受ける鳥取県歯科医学会（10:30～13:00）と、会員による症例報告・研究発表、意見交換を行う鳥取県臨床歯科医学会（9:30～10:15 演題：3題）を開催した。会場では、メーカー5社による展示も行われた。

《 鳥取県歯科医学会 》

日 時	令和6年12月8日（日）10:30～13:00
開催方法	鳥取県歯科医師会館 3階講堂
演 題	～なぜ口腔機能発達不全症が増えるのか？～「子どもの口はふしぎがいっぱい」
講 師	国立モンゴル医科・科学大学 客員教授 岡崎 好秀 先生
参加者数	歯科医師31名 歯科衛生士他21名 合計52名

② 災害対策事業

発災時に対応できる体制を構築するため、各種課題の対応等を行う「災害歯科保健医療対策会議」を10回開催した。

(2) 歯科保健活動助成事業

県内の歯科保健推進のため、鳥取県歯科衛生士会及び鳥取県歯科技工士会に活動助成金としてそれぞれ20万円を交付した。

(3) 歯科保健推進事業

① 鳥取県8020運動推進事業

- ・歯と口の健康週間(6/4～6/10)の普及啓発イベント (R6.6/9, 来場者 570名)
無料歯科相談コーナーを開設 (各地区歯科医師会館)
- ・すこやかシニアよい歯のコンクール (R6 名称改称、H3 年開始、地区・県審査、知事表彰)

② 鳥取県口腔衛生関係者研修会

県内の保育士、養護教諭等を対象として、子どもの歯科保健指導の充実を図ることを目的に口腔衛生に関する知識を習得する研修会を鳥取県と共同で開催する予定だったが、台風のため中止とした。

日 時	令和6年8月29日（木）14:00～16:00
開催方法	ハイブリッド開催（鳥取県歯科医師会・オンライン）
演 題	小児の口腔機能発達不全症について
講 師	東北大学大学院歯学研究科 地域共生社会歯学講座 小児発達歯科学分野教授 齋藤 幹 先生
参加者数	110名（申込ベース）

③ 在宅医療推進研修会

令和6年度から県下全市町村で「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」が行われており、希望する市町村に歯科衛生士を派遣し、他の医療専門職と連携してより専門的に、ハイリスク者への個別支援や、集団の場での健康教育等を実施する。そのため、オーラルフレイル、口腔機能低下者を支援する歯科衛生士を育成するための研修会を開催した。

日時	令和7年3月2日（日）10:00～13:00
会場	倉吉交流プラザ 第一研修室
演題	令和6年度「地域と歯科医院をつなげるための歯科衛生士研修会」
講師	北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室 准教授 渡邊 裕 先生 一般社団法人 北海道歯科衛生士会 会長 末永 智美 先生
参加者数	41名

④ 学校歯科保健推進事業

【第6回鳥取県学校歯科保健研究大会】開催。「学校歯科保健活動の重要性」について研究し理解を深め、子どもたちの望ましい生活習慣の形成と、様々な健康課題の解決に寄与することを目的とし、鳥取県歯科医師会と鳥取県教育委員会が共催で下記のとおり標記研究大会を開催した。

日時	令和6年9月12日（木）10:00～13:00
開催方法	ハイブリッド開催（鳥取県歯科医師会・オンライン）
演題	学校管理下における歯・口のけが～スポーツ歯科と学校歯科保健～
講師	一般社団法人日本スポーツ歯科医学会理事長 安井 利一 先生
参加者数	54名（会場27名、オンライン27名）

⑤ 鳥取県からの受託事業

〔むし歯予防フッ化物洗口事業〕

幼児期から学齢期のむし歯を予防するため、県内の施設等を対象として、フッ化物洗口法（うがい）を実施できる体制を整備した。今年度は西部圏域の保育園1園、小学校では米子市内全校（23校）で実施を開始し、普及啓発である出前説明会も2園で行った。

〔高齢者施設における口腔機能向上推進事業〕

歯科を受診する機会の少ない高齢者施設（東部1・中部1・西部2施設）の入所者に対して口腔健康診断及び健診後フォローを実施した。また、施設職員向け口腔ケア講習会を令和7年2月20日にオンライン開催した。

〔歯科医師認知症対応力向上研修事業〕

歯科医師等による口腔機能の管理を通じて、認知症の疑いのある人に早期に気づき、認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理を適切に行うための研修会を開催した。

日時	令和7年2月2日（日）10:00～13:00
会場	倉吉市上井195 エキパル倉吉 多目的ホール
演題	歯科医療と認知症～認知症の人と家族の思い～
講師	公益社団法人認知症の人と家族の会 鳥取県支部代表世話人 吉野 立 氏 認知症当事者 三輪 英男 氏

	鳥取県中部歯科医師会地域歯科医療連携室 室長	國竹 洋輔 氏
参加者数	歯科医師 37名 歯科衛生士 13名 家族の会 6名	合計 56名

〔令和6年度大学生を対象とした歯科健診啓発事業〕

令和6年度から健康増進法に基づく歯周疾患検診の対象年齢が拡大され、20歳と30歳が追加されたことを踏まえ、情報が届きにくい大学生に対し、県内の大学と連携して制度拡充（20歳の追加）を周知するとともに歯科健診を実施し、今後の定期的な歯科健診受診の必要性を啓発することを目的に実施した。

	公立鳥取環境大学	鳥取大学（湖山・米子キャンパス）
健診時期	4月（学生健康診断日に同時実施）	9月（夏季休暇中のため他学年も可能とした）
受診者数	222名	190名

〔令和6年度歯周病と糖尿病を予防する！医科・歯科連携推進事業〕

歯科と医科の関係者に対し研修会を実施することで、連携強化を図ることを目的に開催した。

○講演Ⅰ「医科歯科連携を考慮した糖尿病の合併症評価・食事療法」

講師：鳥取大学医学部附属病院 内分泌代謝内科 大倉 毅先生

○講演Ⅱ「糖尿病と歯周病の医科歯科連携」

講師：九州大学 口腔機能修復学講座歯周病分野 西村 英紀先生

○ディスカッション「いかに医科歯科連携を推進するか」

講師：大倉 毅先生、西村 英紀先生 座長：野口 圭太郎先生

また、県民への情報提供を行うため、受講した歯科医師については「鳥取県糖尿病医科歯科連携協力歯科医」としてリーフレットを作成した。

（東部地区 35名、中部地区 12名、西部地区 47名 計 94名）

⑥ 地域歯科医療連携室

〔地域医療介護総合確保基金事業〕（鳥取県補助事業）

地域包括支援センター等の他機関と連携しながら、在宅歯科医療希望者への歯科診療所の照会、在宅歯科医療等に関する相談、在宅歯科医療を実施しようとする医療機関に機器の貸出を行う地域歯科医療連携室（本会及び地区歯科医師会）を運営した。

前年度に引き続き、連携室を広く周知するためのポスター・リーフレットを作成し、関係機関に配布するとともに、全国レベルの学会参加、各種講習会（口腔ケア関連、連携室関係職種レベルアップ研修会等）の開催、行政・多職種からの要望事項の協議や課題の検討を行った。

また、令和6年度から県下全市町村で「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施オーラルフレイル予防歯科衛生士派遣事業」が始まるにあたり、各地区歯科医師会との調整作業や、協力歯科衛生士を養成するための研修会などを企画開催した。

〔訪問歯科衛生士養成支援事業〕（鳥取県補助事業）

今年度は開催していない。

〔医療介護連携のための多職種連携等研修事業〕（鳥取県補助事業）

今年度は開催していない。

〔令和6年度働く世代のフレイル予防推進事業〕（鳥取県補助事業）

働く世代に対する職場でのフレイル予防の取組を支援する仕組みを構築することにより、生

涯にわたる健康づくりを促し、もって県民の健康寿命の延伸を図ることを目的に実施した。

協会けんぽ等を通じて希望のあった企業にてフレイル、オーラルフレイルに関する講話、オーラルフレイルチェック（問診、オーラルディアドコキネシス、咀嚼機能、歯数カウント）を行った。

東部の企業1社に対し、令和6年12月26日に歯科医師1名、歯科衛生士1名で実施した。対象者は31名。

《 鳥取県後期高齢者医療歯科健診事業 》

後期高齢者の口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾病を予防し、健康寿命の延伸を図るため、歯・歯肉、口腔清掃や口腔機能状態等をチェックする歯科健康診査を実施した。

受診期間	令和6年6月1日～令和7年1月31日
協力医院	東部75医院 中部32医院 西部76医院 合計183医院
受診者数	東部611名 中部353名 西部1,542名 合計2,506名

(4) 歯科保健普及啓発事業

① 歯と口の健康週間相談事業（鳥取県からの受託事業）

歯と口の健康週間（6月4日から10日までの7日間）の日曜日に県民を対象として、歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発と歯科疾患の早期発見を目的に、無料で歯についての各種相談（歯みがき、歯並び矯正、粘膜疾患等）、歯科健康診査、フッ化物応用を東・中・西部の3か所で、地区歯科医師会と共同で開催した。

(5) 歯科保健コンクール事業

① よい歯のコンクール事業

生涯を通して歯科保健に対する関心を高め、県民の健康増進を図るため、高齢者・小学校6年生を対象として、鳥取県と協力（高齢者）しながら公正な審査を実施し、被表彰者を決定・表彰、公表した。

② 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクール事業

学童期からの歯科保健意識の定着と、より一層の公衆衛生の機運醸成を図るため、県内の学校から公募し、公正な審査を実施、被表彰作品を決定・表彰した。その後、作品は、東・中・西部地区ごとに公共施設等に展示した。

なお、最優秀作品は、日本学校歯科医会・日本歯科医師会の主催する全国コンクールに応募した。

(6) 歯科医療管理事業

① 医療管理講演会

日本歯科医師会が厚生労働省から委託を受け、全国6会場のうちのひとつとして鳥取県で開催されることになり、HIVやHBV、新型コロナウイルス感染症等の病原体各々の特徴を踏まえた院内感染対策等のテーマにより、歯科医療関係者に対して、歯科保健医療の安全の確保を図ることを目的とした講習会を開催した。

日 時	令和6年9月8日（日）10:00～12:15
会 場	鳥取県歯科医師会館＋中部・西部地区歯科医師会館＋オンライン
演 題	歯科診療に係る HIV や HBV、新型コロナウイルス感染症等の病原体各々の特徴を踏まえた院内感染対策等

講師	東京医科歯科大学 名誉教授 深山治久 氏
参加者数	会員 122名 会員以外 65名 合計 187名

② 保険診療指導

診療所を受診される方々に適正な保険診療による安心・安全な歯科医療を提供するため、制度改正や届出様式、取扱要領等の最新情報を会員へ周知した。

③ 歯科医療会員調査事業

かかりつけ歯科医機能を充実させ、よりよい診療所を目指すため会員の診療形態を調査した。

(7) 歯科医療情報提供事業

県内の会員歯科医院マップ、歯と口の健康、休日歯科診療案内、イベント予定など、総合的な歯科医療情報を提供するホームページ及び公式アプリ「App 歯っ鳥くん」の運営を行った。併せて、本会の活動を内外に周知する広報誌「鳥歯会報」を年6回発行し、会員及び関係機関に配付するとともに公式アプリ「App 歯っ鳥くん」に掲載した。

【継続事業3】 歯科衛生士養成所運営事業（鳥取県からの受託事業）

鳥取県から、歯科衛生士としての必要な知識及び技能を習得させる3年制専門学校（鳥取県立歯科衛生専門学校／1年生21名、2年生25名、3年生32名）の運営委託を受け、本会の会館2階に併設されている県の校舎で、施設設備の保全及び生徒の授業に関する事務等を行った。

【継続事業4】 歯科技工士養成所運営助成事業

県内における歯科技工分野の人材育成を支援するため、県内に唯一設置されている鳥取歯科技工専門学校に対して、運営費の助成（350万円）を行った。

その他会計

【その他の主要な事業以外の事業】

(1) 会員の福利厚生事業

① 会員表彰披露・祝賀会

厚生労働大臣表彰、日本歯科医師会会長表彰などを受賞された会員をお祝いする祝賀会を開催した。

日時	令和7年1月18日（土）16:30～19:30
会場	鳥取市今町2-153 ホテルニューオータニ鳥取
内容	各種表彰受賞者紹介 記念品贈呈 新入会員紹介 アトラクション（落語 六代目 桂文吾）
参加者数	会員63名 来賓42名 事務局9名 合計114名

② 会員フェスティバル

会員相互の親睦交流、健康増進、心身リフレッシュのため、スポーツ大会や懇親会を全国歯科医師国民健康保険組合鳥取県支部、鳥取県歯科医師連盟と共同で開催した。

《 各地区対抗親睦野球大会 》

日 時	令和6年6月16日(日) 9:00~13:00
会 場	東伯郡湯梨浜町川上 885 東郷運動公園野球場
成 績	優勝：西部チーム 東部チーム：2位 中部チーム：3位
第1試合	◎東部チーム / 中部チーム 10:2 東部チーム勝利
第2試合	東部チーム / ◎西部チーム 7:10 西部チーム勝利
第3試合	中部チーム / ◎西部チーム 4:13 西部チーム勝利

《 懇親会 》

日 時	令和6年8月24日(土) 18:45~20:30
会 場	鳥取市東品治町 102 鳥取ワシントンホテルプラザ
アトラクション	ゲーム 野球大会表彰式 福引き
参加者数	会員54名 事務局4名 合計58名

《 同好会行事 ゴルフ大会 》

日 時	令和6年8月25日(日)
会 場	鳥取市御熊 586-1 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部
参加者数	15名

③ 同好会助成事業

会員の同好会活動の活性化を図るため、野球同好会とゴルフ同好会にそれぞれ8万円の経費の助成を行った。

④ 従業員永年勤続表彰

今年度は実施していない。

(2) 中国・四国地区歯科医師会連合会関連事業

《 中国地域歯科医師会 親睦野球大会 》

中国地域で年1回開催される野球大会に参加し、会員の健康増進や他県との交流を図った。

日 時	令和6年11月3日(日) 8:30~
会 場	広島市西区観音新町 2-11-124 Balcom BMW 広島総合グランド野球場
参加者数	14名

(3) 歯科衛生士就学資金給付事業

地域歯科医療を担う歯科衛生士の確保を目的として、鳥取県立歯科衛生専門学校において歯科に関する専門知識を習得しようとする者で、県内に就業を希望する者に対して就学資金を給付した。

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
採用者数	1	1	4	2	1

(4)「九州」「中国・四国」地区歯科医師会役員連絡協議会関連事業

《「九州」「中国・四国」地区歯科医師会役員連絡協議会》

今年度は18年ぶりに上記協議会開催の当番県になっており、役員連絡協議会及び懇親会を開催し、日本歯科医師会、日本歯科医師連盟の役員及び米子市長、経済再生担当大臣をはじめとする国会議員など、多数の来賓や他県との交流を図った。

日 時	令和6年11月30日(土) 14:30～
会 場	米子市久米町53番2号 ANAクラウンプラザホテル米子
参加者数	132名

法人会計

【法人の管理業務】

総会・理事会の開催、資産・負債の管理、事務局の運営など、法人の事業の管理を行った。